



会場のご案内

【LEVEL XXI (レベル21) 東京會館】

東京都千代田区大手町2-2-2
アーバンネット大手町ビル21F シルバー・ルーム
TEL: 03-5255-1515

会場へのアクセス

- JR………東京駅丸の内北口 徒歩5分
- 地下鉄…大手町駅下車(A5・B2A出口) 徒歩1～5分
(丸の内線/東西線/千代田線/半蔵門線/都営三田線)

申込書

製造業シニアエグゼクティブによるイノベーションの薫陶と相互学習

第6期 イノベーションフォーラム ジャパン

グローバル市場で生き残るために、いかにして日本発のイノベーションをマネジメントするか？

▼ 下記個人情報の取り扱いに同意のもと、申込欄に記入、もしくは欄内にお名刺をそのまま貼付の上、FAXにてご送付ください。

お申込み方法

- ・申込欄にお名刺を添付していただくか、必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。
- ・複数名でお申込みの場合、申込書をコピーの上、お一人様ずつお申込みください。
- ・お申込みされた方には、後日受講証を送付いたします。当日は受講証とお名刺をご提示の上、ご入場ください。
- ・定員になり次第、お申込みを終了いたします。予めご了承ください。

お支払い

ご登録後、順次、請求書をお送りいたします。参加料のお支払いは、請求書到着後、銀行振込で指定の事務局専用口座宛にご入金願います。

キャンセルについて

キャンセル期日は平成30年9月12日(水)までとなります。キャンセル希望の場合は、期日迄にEメールまたはFAXにてお知らせください。お電話でのキャンセルはお受けできません。受信後、弊社からキャンセル受領の確認をEメールまたはFAXにて返信します。以上をもって、キャンセル手続きの完了となります。それ以降のキャンセルはお受けできませんので、代理の方の出席にてご対応ください。

参加料(全5回): お一人様/税込 …… **¥270,000**

お申込みFAX番号

03-3518-6534

右記ウェブサイトからもお申込みいただけます <http://www.b-forum.net/innovation2018-19/>

お問い合わせ 株式会社ビジネス・フォーラム事務局 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル9F **TEL:03-3518-6531** 受付時間 9:30～18:00 (土・日・祝日を除きます)

個人情報の取り扱いについて

- *本申込書でご提供いただく個人情報は、イベント参加申し込みを適切に受け付けて管理するため、及び株式会社ビジネス・フォーラム事務局(以下弊社)が提供するサービスに関する情報を電子メール等でご提供するために利用します。
- *個人情報の第三者提供について:当個人情報は、以下の通り第三者に提供いたします。
[第三者に提供する目的]・本イベントを適切に運営するため
・本イベントの協力企業(主催・共催、後援、協賛など)からの製品・サービスのご紹介、展示会・セミナー等のご案内などに利用するため
- [提供する個人情報の項目] 御社名、部署名、住所、TEL、FAX、お名前、メールアドレス、他本申込書でご提供いただいた項目
- [提供の手段又は方法] 直接書面、または電子データにて提供いたします
- [当該情報の提供を受ける者又は提供を受ける者の組織の種類、及び属性] 当該情報の提供を受ける者は、本イベントの協力企業(主催・共催、後援、協賛など)
- [個人情報の取扱いに関する契約がある場合はその旨] 弊社と本イベントの協力企業(主催・共催、後援、協賛など)との間に個人情報の取扱いに関する契約はございません
- *当個人情報の取扱いを委託することがあります。委託にあたっては、委託先における個人情報の安全管理が図られるよう、委託先に対する必要かつ適切な監督を行います。
- *当個人情報の利用目的の通知、開示、内容の訂正・追加または削除、利用の停止・消去および第三者への提供の停止(「開示等」といいます。)を受け付けております。開示等の求めは、以下の「個人情報苦情及び相談窓口」で受け付けます。
- *任意項目の情報のご提供がない場合、最適なご回答ができない場合があります。
- <個人情報苦情及び相談窓口> 株式会社ビジネス・フォーラム事務局 個人情報保護管理者 取締役 松田 勲 TEL:03-3518-6531(受付時間 9:30～18:00 ※土日祝日を除く)

第6期

製造業シニアエグゼクティブによるイノベーションの薫陶と相互学習

イノベーションフォーラム ジャパン

グローバル市場で生き残るために、いかにして日本発のイノベーションをマネジメントするか？

開催日(全5回) | 時 間 各回 13:30～17:50(受付 13:00～)

2018年 ▶

第1回

9月20日(木)

第2回

10月16日(火)

第3回

11月21日(水)

2019年 ▶

第4回

1月30日(水)

第5回

3月 5日(火)

※各回プログラム終了後、1時間程度の交流会を開催予定



東レ株式会社
代表取締役副社長
技術センター所長(CTO)
阿部 晃一 氏



オムロン株式会社
代表取締役 執行役員専務
CTO 兼 技術・知財本部長
兼 イノベーション推進本部長
宮田 喜一郎 氏



コニカミノルタ株式会社
取締役 常務執行役員 CTO
腰塚 國博 氏



元・日産自動車株式会社
NISSAN GT-R 開発責任者
華創日本株式会社 代表取締役COO
兼 華創車電(台湾) 上級副社長
水野 和敏 氏



ヤマハ発動機株式会社
前・代表取締役副社長執行役員
木村 隆昭 氏



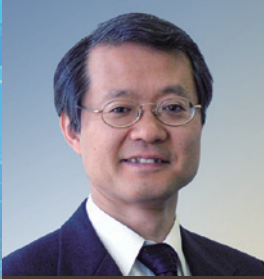
パナソニック株式会社
専務執行役員
CTO, CMO, CQO, CPO, CIO
宮部 義幸 氏



株式会社JVCケンウッド
代表取締役 会長執行役員
最高経営責任者(CEO)
辻 孝夫 氏



前・富士フイルム株式会社
取締役副社長 CTO
一般社団法人 再生医療イノベーションフォーラム 代表理事・会長
戸田 雄三 氏



アーサー・ディ・リトル・ジャパン
株式会社
パートナー
森 洋之進



日本アシアグループ株式会社
専務執行役員CDO
前・ソニー株式会社
執行役員社長 コーポレートR&D担当
鈴木 智行 氏

会 場

LEVEL XXI (レベル21) 東京會館

東京都千代田区大手町2-2-2 アーバンネット大手町ビル21F シルバー・ルーム

参 加 規 模

25名(事前登録制)

参 加 対 象

製造業の経営者、役員ほか、経営企画、事業企画、研究・技術開発、その他各事業部門の責任者の方々

主催: 株式会社ビジネス・フォーラム事務局 プログラム主幹: アーサー・ディ・リトル・ジャパン株式会社

Arthur D Little

シンガポールにおいて開催された米朝首脳会議後の各国を巻き込んだ錨迫り合い、“関税引き上げ合戦”の様相を呈してきた米中貿易摩擦、米英仏によるシリア攻撃など、先行きが見通せない世界の政治情勢は企業活動のリスクとなっています。その一方で、コーポレート・サステナビリティやインダストリー4.0、デジタルゼーションやロボティクス/IOTなどの発展が続き、グローバル経済活動の変化も止まることを知りません。われわれは、このような前例のないグローバル政治環境・経済環境の激震に関わらず、いや、如何な外部環境の変化を乗り越えて高収益高成長を創出する経営の舵取りを遂行しなければなりません。その時のキーワードは「イノベーション」です。マクロ的に日本の製造業が付加価値生産性を向上させるためにも、ミクロ的に開発・生産・販売・サービスの現場が一体となって高収益を伴う高成長を実現させるためにも、「イノベーション」こそが最重要課題だと我々は考えています。

アーサー・ディ・リトル(ADL)は、1886年、米国ボストンにて創業した「イノベーション」を旗印にしたグローバル戦略コンサルティングファームです。このたびビジネス・フォーム事務局と協力のもと、次代の技術系経営者を育てることを目的に「イノベーション経営」のあり方を考える機会を持つべく、今年で第6回目となる「イノベーションフォーラムジャパン」を実施させていただくことになりました。

イノベーション経営に携わった当代一流の経営者・イノベーターを講師としてお迎えし、“生の”イノベーション創出経営の薫陶を受けつつ、日本企業のイノベーションマネジメントに関する有益な議論・交流を深めさせていただきたいと存じます。日本の次代を担う、エグゼクティブ皆様のご参加をお待ち申し上げます。

13:30

Session 1

15:30
～15:45
ブレイク

15:45

Session 2

～17:45
(17:50 終了)

第1回

2018年 9月20日(木)

日本流イノベーションの創出
～東レの研究・
技術開発戦略を中心に

- 日本人気質を活かした研究・技術開発戦略：“超継続”、“連携と融合”
- “極限追求”と“革新技術新展開”によるイノベーション創出例
- CTOの役割(総合力の発揮、将来有望なテーマの仕込み、人材育成など)

東レ株式会社
代表取締役副社長 技術センター所長(CTO)
阿部 晃一 氏

【プロフィール】 1953年 兵庫県神戸市生まれ。77年 大阪大学大学院基礎工学部修士修了後、東レ株式会社に入社し、ポリエステルを中心とするフィルムの研究に従事。96年 リサーチフェロー(フィルム構造設計)に認定、フィルム研究所長、研究・開発企画部長、愛知工場長を経て、2005年 取締役(研究本部長)に就任。その後、09年 常務取締役、11年 専務取締役、12年 CTO就任。13年 代表取締役専務取締役を経て、14年 代表取締役副社長就任。



日本のイノベーション創出に向けた課題

- バブル崩壊後の日本の電機業界の停滞
- 日本のイノベーションの停滞
- 超スマート社会に向けた当社のイノベーションの取り組み

パナソニック株式会社
専務執行役員 CTO、CMO、CQO、CPO、CIO
宮部 義幸 氏

【プロフィール】 1983年 大阪大学大学院工学研究科修了。同年、松下電器産業株式会社(現パナソニック株式会社)に入社。本社研究所でハイパーメディア、ワークステーション、衛星デジタル放送システムなどの開発に従事。新規事業の立ち上げ、技術戦略スタッフを経て、2008年 役員に就任。2011年 常務取締役 技術担当、2013年 AVCネットワークス社社長、2014年 代表取締役専務、2015年 技術・モノづくり・調達・IT革新総括担当、2017年より現職。



第2回

2018年 10月16日(火)

社会・技術・科学の
相互進化を成長に活かす
オムロンの技術経営

- 技術で社会課題を解決するオムロンの事業展開
- 事業の成長を加速する骨太のテーマ設定
- 新規事業のタネを産み出すマネジメント

オムロン株式会社
代表取締役 執行役員専務
CTO 兼 技術・知財本部長
兼 イノベーション推進本部長
宮田 喜一郎 氏

【プロフィール】 1985年 神戸大学工学部卒業。同年、株式会社立石ライフサイエンス研究所(現オムロンヘルスケア株式会社)入社。94年 米国Omron Healthcare, Inc. 技術管理ディレクター、商品企画マネージャー、2003年 オムロンヘルスケア株式会社 商品事業統轄部生体計測事業部長、08年 同社商品事業統轄部長 兼 執行役員常務就任を経て、10年 オムロンヘルスケア株式会社 代表取締役社長に就任。10年 オムロン株式会社執行役員、12年 同社執行役員常務を経て、15年 同社CTO 兼 技術・知財本部長に就任。17年 同社代表取締役執行役員専務に就任。18年 同社イノベーション推進本部長に就任。



技術の掘り起こしと
イノベーションを活かす経営

- 復活への道のりとリーダーの役割
- 音響、通信、映像など、強みを活用した技術経営の取り組み
- イノベーションの創出～想像力のある組織・人づくり

株式会社JVCケンウッド
代表取締役 会長執行役員
最高経営責任者(CEO)
辻 孝夫 氏

【プロフィール】 1949年 京都府生まれ。73年 日商岩井株式会社入社。83年 ニューヨーク本社勤務。95年 日商エレクトロニクス株式会社出向。96年 マルチメディアシステム部長。99年 ネットワーク事業部事業部長。99年 取締役。2000年 常務取締役。02年 代表取締役社長。09年 取締役会長。10年 双日機械部門顧問。13年 株式会社JVCケンウッド 社外取締役。14年 代表取締役社長兼執行役員 最高執行責任者(COO)、兼最高リスク責任者(CRO)、兼最高革新責任者(CIO)。16年 代表取締役社長 兼 執行役員 最高経営責任者(CEO)。18年より現職。



第3回

2018年 11月21日(水)

コニカミノルタが挑む
新しい価値の創造

- デジタルイノベーション創出の型～KM-way
- デジタルディスラプションと価値の再定義
- 新しい価値の創造のカギ ～Inclusive

コニカミノルタ株式会社
取締役 常務執行役員 CTO
腰塚 國博 氏

【プロフィール】 1981年 東京工業大学工学修士課程修了。同年小西六写真工業株式会社に入社。写真用感材の開発に従事した後、産業、印刷、医療用システムの開発リーダーを歴任。コニカとミノルタの経営統合後、2012年 執行役 技術戦略部長に就任しMOTを推進。2015年 取締役 兼 常務執行役 事業開発本部長として、産業用光学、バイオ診断、新デジタル印刷などの新規事業開発を行い、関連する海外企業の大規模買収を複数手掛け、現在もCTOとしてイノベーション創出に取り組む。社外では、技術開発プロジェクトのリーダー、技術研究組合の理事長など産官学活動の推進に尽力する一方、イノベーション創出、デジタルトランスフォーメーションなどに関する外部講演多数。



イノベーションと
新規事業開発

- 写真フィルム事業から進化したライフサイエンス事業
- イノベーションを育む組織、人、そして仕組みづくり
- イノベーションを創出するリーダーの役割

前・富士フイルム株式会社
取締役副社長 CTO
一般社団法人
再生医療イノベーションフォーラム
代表理事・会長
戸田 雄三 氏

【プロフィール】 1973年 富士フイルム株式会社に入社、カラーフィルム製品開発・製造技術に従事。93年より、Fujifilm Photo Film B.V.(オランダ) 研究所長、欧米市場向け感光材料の開発及びコーゲン研究を基に再生医療の研究をスタート。2004年 化粧品・サプリメント事業、07年 医薬品事業を立ち上げるなど、数々のイノベーション創出と新規事業開発を先頭に立ち成し遂げてきた。2018年6月に退任。現在は「一般社団法人 再生医療イノベーションフォーラム」の代表理事・会長として活躍中。



第4回

2019年 1月30日(水)

イノベーション・マネジメント
～世界一流のモノづくり論

- NISSAN R35 GT-R開発の背景(求められたグローバルトップブランドと世界最高性能)
- 成功の本質: 企画から開発、生産、そして販売に至るまでの重要なエッセンス
- イノベーションを生み出す環境・文化、そしてリーダーシップ等

元・日産自動車株式会社
NISSAN GT-R 開発責任者
華創日本株式会社
代表取締役COO 兼 華創車電(台湾) 上級副社長
水野 和敏 氏

【プロフィール】 元日産R35GT-Rの生みの親で、グローバル・プロジェクト統括及び開発責任者として活躍後、現在は「華創日本株式会社 代表取締役COO(日本)、及び 華創車電(台湾) 上級副社長」として、LUXGENブランド車全ての開発や企画等を担当する傍ら、自動車媒体の新型車試乗と評価結果の紹介記事等を定期連載中。また「生けるカプロジェクト」の主宰者として将来の日本を担う開発者等の人材育成活動をはじめ、企業の新商品開発や人材育成、マネジメント研修講師としても幅広く活動中。



水野和敏氏との対話

対話トピック例:

- ・イノベーションの真髄とは?
- ・いかにイノベーション人材を育てるか?
- ・一流とは何か? など



カリスマ開発者として一時代を築き上げた水野氏へのダイレクトな質問、そして相談事など、他では体験できない貴重なセッション

第5回

2019年 3月5日(火)

成長性と高収益を両立する
イノベーションへの挑戦

リーマンショックにて大きく毀損したマリン事業を再建して売上高3000億円と営業利益率20%を達成。その過程における事業改革への取組みと更なる成長に向けての「イノベーション」への挑戦について講演。

ヤマハ発動機株式会社
前・代表取締役副社長執行役員
木村 隆昭 氏

【プロフィール】 1976年 名古屋大学工学部機械学科卒業後、ヤマハ発動機株式会社入社。99年 AM事業部開発室長、2002年 AM事業部長を経て、03年に執行役員、そして05年 取締役就任。その後07年 上席執行役員、09年 マリン事業本部長(兼)マリン事業本部WV事業部長(兼)AM事業部担当を歴任し、同年11月に代表取締役、そして常務執行役員に就任。10年 専務執行役員、12年 技術本部長(兼)マリン事業本部長(兼)デザイン本部担当(兼)AM事業部担当を歴任し、14年に副社長執行役員、17年 マリン事業本部長(兼)デザイン本部担当(兼)エンジンユニット担当(兼)AM事業部担当。17年 技術担当を経て、18年1月 取締役社長付、同年3月 顧問に就任し現在に至る。
*AM:自動車エンジン略
*WV:Water Vehicleの略



“創造と挑戦”
～新たな顧客価値の創造～

“モノからコト”消費へ時代が変遷する中、如何に新しい顧客価値を創造するか?

日本アジアグループ株式会社
専務執行役員CDO
(Chief Digital transformation Officer)
前・ソニー株式会社
執行役副社長 コーポレートR&D担当
鈴木 智行 氏

【プロフィール】 1979年 ソニー株式会社に入社。以来約30年に渡り、イメージセンサーの創世記から成熟期まで、開発から設計、製造、営業と事業全般を担当。CCDからCMOSイメージセンサーへの転換を回り、半導体事業の成長を牽引。2012年よりコーポレートR&Dを担当、15年 執行役副社長就任。技術の産業化により、イノベティブなソニーの製品創りをリードしている傍ら、人材育成にも注力し、リーダーシップ、マネジメントについて社内教育を実施。2018年7月より日本アジアグループ(略称:JAG)の専務執行役員CDO(Chief Digital transformation Officer)として活躍中。



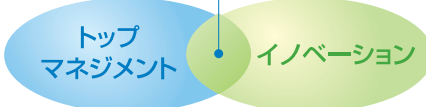
経験と論理と対話による

“ウェットな”薫陶と学習

本フォーラムへの参加によって
習得されるもの

- イノベーションの本質に対する**実感的理解**
- 自社におけるイノベーション創出に対する**示唆とヒント**
- イノベーションを自社内組織へ落とし込む際の**フレームワーク・スタンス**
- 他社、他業界における**イノベーションの実例**
- イノベーション創出に向けた**勇気と自信**

イノベーションフォーラムジャパン



本フォーラムは有数の日本企業で自らイノベーションを起こし、さらに企業経営に携わってきた「シニアエグゼクティブ」に講師として登壇していただき、また講師及びフォーラム参加者との真摯な対話を通して、自社のイノベーションマネジメントに対する示唆とヒントを得る貴重な研修機会となります。現在、経営に携わっているマネジメントだけでなく、次世代の経営幹部の方々にとっても実践的経営を学ぶ有益な場となります。

前回の模様



参加者の声

- 率直なご意見をうかがえて非常に勉強になりました。部品メーカーに対する生の声が聞けたのが大きな収穫。また質疑応答の話は本当の生の声で、興味深い話ばかりでした。(大手機械メーカー)
- 毎回非常に興味深い話で、有難うございました。それ以外の部分で講師の方々との接触がきっかけで、新しい共同開発ができるようになりました。(大手製薬メーカー)

プログラム主幹

アーサー・ディ・リトル・ジャパン株式会社
パートナー
森 洋之進

【プロフィール】 東北大学工学部機械工学修士課程修了。米国カリフォルニア大学バークレー校経営学修士(MBA)。大手電子機械メーカー(商品企画、設計・開発、海外戦略立案、合併会社設立等)、米国系経営コンサルティング会社勤務を経て、ADLに参画。経済産業省「産業構造審議会知的財産政策部会経営・情報開示小委員会」委員、同省「特許権流動化・証券化研究会」委員。製造業を中心とする国内、海外における事業戦略立案、技術戦略立案、知的財産戦略立案、経営革新支援などを手掛ける。

